

ごみ減量化事業

平成18年度にごみ袋を有料化してから、家庭ごみ排出量が平成20年度、21年度と2年連続で有料化前の20%以上の減量に成功。このことを受け、平成22年度に市指定ごみ袋の料金を半額にし、それ以降のごみ袋料金について市民と『ごみ袋変動相場制』導入の約束を交わしました。市民との協働でごみ減量につながる取組みをご紹介します。

アピールポイント！

- 「ごみ袋変動相場制」の導入
- 6つのリバウンド防止策を展開
ごみ袋料金の再検討、ノーレジ袋とマイバック運動の推進、リユース事業の推進、生ごみのコンポスト化推進、雑紙の資源化推進、ごみ減量化に対する市民意識の高揚
- 変動相場制導入して3年で家庭ごみの7.7%減量に成功したため、平成25年度にはごみ袋の料金を7.7%減額

ごみ減量化の状況

視察者からの声

年度	家庭ごみ排出量(t)	H17比減量率
H17	18,638.21	
H18	15,337.30	△17.7%
H19	14,637.43	△21.5%
H20	14,251.85	△23.5%
H21	14,506.98	△22.2%
H22	12,343.26	△33.8%
H23	12,659.59	△32.1%
H24	12,782.82	△31.4%
H25	12,964.20	△30.4%
H26	13,108.28	△29.7%
H27	13,164.31	△29.4%
H28	12,515.04	△32.9%

☆市が注目を集めるような様々な施策に取り組むことで、ごみ減量に関心が集まっている。

☆雑がみを集めたら、市指定ごみ袋に変えてもらえるなんておもしろい。

